

# 鐘楼

伊勢崎市立北小学校学校運営協議会だより 第17号  
(本年度1号)

令和4年9月 伊勢崎市立北小学校学校運営協議会

北小学校ホームページアドレス：<http://www.isesaki-school.ed.jp/kitasyo/>

## ☆ 令和4年度北小学校運営協議会がスタートです ☆

北小学校運営協議会の情報を発信する、この「鐘楼」は、平成28年9月の第1号から9年目となります。この間、北小学校運営協議会の取り組みを地域や家庭に発信してきました。この3年間は新型コロナウイルスの感染状況の悪化と好転が、繰り返される中での発信でしたが、少しでも地域の皆様や保護者の皆様に、情報をお伝えすることができたのではないかと考えています。今年度も、本会の情報を発信していきますので、引き続き宜しく願い致します。

さて、6月2日に赤石学舎会議室にて第1回学校運営協議会を開催致しました。伊勢崎市教育委員会より12名の委員に委嘱状が交付された後、役員（会長、副会長）の選出が行われ、今年度の活動がスタートしました。はじめに校長より示された「学校運営協議会の基本方針」を承認し、「本年度の学校経営（学校づくり、教育課程、学校評価、学校支援ボランティア等）を確認しました。

[令和4年度 北小学校運営協議会基本方針]

1. 地域の人材や、教育的財産を生かした魅力ある教育課程の編成に関する基本方針の承認及び、教育活動への助言・評価を行う。
2. 地域との交流や地域に根ざした学校づくりに関する基本方針の承認及び、助言・評価を行う。

全委員で、授業を参観した後に、今年度の取組について協議しました。今年度の活動計画としては、概ね次のとおりとしました。

- 第1回（6／2）  
本年度の学校経営の確認、校内視察（授業参観）、今年度の取組の検討
- 第2回（7／26）  
教職員との懇談会、具体的な取組の提案（健康安全班、健全育成班）
- 第3回（9／28）  
第1回学校評価アンケート結果の確認、具体的な取組の協議（健康安全班、健全育成班）
- 第4回（2／3）  
第2回学校評価アンケート結果について協議、今年度の成果と課題、次年度に向けて

～ 本年度の北小学校運営協議会委員です。宜しくお願いいたします。～ [50音順]

会長 芝崎 和子（曲輪町3区 区長） 副会長 山田 千広（北小PTA会長）  
委員 新井 恵子（放課後こども教室コーディネーター）  
小山 美子（伊勢崎市立第一幼稚園長） 佐藤 昌弘（北公民館長）  
高橋 香澄（北小PTA副会長） 高橋 望（群馬大学大学院准教授）  
平岡 さつき（共愛学園前橋国際大学教授）  
本堂 晴生（NPO法人Gコミュニティ代表理事）  
丸山 晃司（北地区青少年育成推進委員）  
山田 亜基子（北小ボランティアリーダー）  
新井 俊一（北小学校長）  
オブザーバー  
佐藤 佐知子（北第二小学校長）



また、今年度の取組については、「柔軟な体制でやっていきたい。課題を底上げし、良い面を伸ばしていけると良い。」「情報モラルについては、コロナ禍で、人間関係が希薄になってきているため、対面では起こりにくいことが起こってしまうことがある。家庭との連携が一層必要となってくる。」等の意見が出されました。

## ★第2回学校運営協議会では、北小学校の教職員と懇談会を行いました★

7月26日は、北小学校の5つの教室に分かれて、教職員と懇談会を行いました。

テーマは、昨年度に引き続き「児童の生活・安全」と「児童の心や社会性の育成」で、意見交換を行いました。教職員から、北小学校の教育活動や児童の様子について等の話があり、委員からも意見等を出しました。

各会場の報告の主な内容は下記の通りです。



### 〈 児童の生活・安全について 〉

- タブレットの持ち帰りについては、危険も潜んでいる。学校としても、出来る事には限界がある。また、タブレット導入は、どの学校もはじめてのこと、失敗することはあると思われるが、そこから学ぶことが大切である。
- 伊勢崎の子どもたちのゲームの時間は、全国平均より長い。放課後、子どもたちが過ごす場がないとネットやゲームをすることになりやすい。ゲームやネットでは、環境が大事である。まず、大人が意識する必要がある。例えば、食事中にスマホを見る大人がいれば、子どもはそれが当たり前だと思う。ゲームのことを学校にお願いするのは、おかしいと思う。
- 「夏休みが楽しくない。」と言う子どもがいると聞いた。学校がないと居場所がない子どももいるということになる。学童や祖父母、育成会などの機会のない子どもがいるということになる。ただ、地域の取組に参加しない家庭が増えているので、コミュニティのつくり方が難しくなっているのではと感じられる。

### 〈 児童の心や社会性の育成について 〉

- 子どもたちは元気に挨拶してくれる。子どもたちの中で、リーダーとなる子どもが全体に働きかけていくことが大切だ。挨拶が自主的にできるようになって欲しいのは、保護者の願いである。
- 会った人全員に挨拶するのか、知っている人に親しみを込めて挨拶するのかなど、どのような挨拶を求めるのかと思う。北小の子どもは、親しみのある挨拶をよくしてくれている。



【コロナ対策として座席を離しています】

教職員との懇談会では、様々な意見が出され、本会との情報共有することができました。学校の良い面をさらに伸ばし、学校の課題解決に向けて、少しずつですが先が見えてきたように思います。今後の活動の参考にして、取組が進められればと考えています。

本会の取組の協議については、健康安全班では情報モラルの醸成について意見を交わし、PTA主体で保護者の意識調査をすることになりました。その結果を受けて、今後の取組を検討することにしました。また、健全育成班は、子どもたちの挨拶について、意見を出し合い共有しました。

